

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 12

千葉県立生浜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、目標をもって充実した高校生活を送る強い意志があり、次のア又はイのいずれかに該当する生徒。

- ア 中学校時代の学習態度が良好で、特別活動等に熱心に励み、入学後も学校生活全般にわたり意欲的に取り組む意志があること。
- イ 中学校時代の学習態度が良好で、部活動において熱心に活動し、入学後も意欲的に部活動を行う意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：5分程度
(4) 自己表現	次のア、イのいずれかを出願時に志願者が選択 ア 文章による自己表現 実施形態：検査室で一斉に実施 検査時間：50分 字数：400～600字 イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 野球（男）・陸上競技（男女）・バドミントン（男女）・ サッカー（男）・卓球（男女）・ソフトボール（女）・ 剣道（男女）・バレーボール（女）・テニス（男女）・ アーチェリー（男女） 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は複数人数で実施） 検査時間：20分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値に、イ及びウについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間皆勤である場合は加点する。 3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	○の数が5つ以上の場合は加点する。 ○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容について問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

**(3) 面接**〔100点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（aa～dd）ごとに得点化する。dを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容に対し、誠実に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等の身だしなみが整えられており、基本的な礼儀作法が身に付いている。

**(4) 自己表現**〔200点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（aa～dd）ごとに得点化する。dを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

**ア 文章による自己表現（日本語による自己アピール）**

評価項目	評価基準
(ア) 字数・意欲	指定された字数に従って文章表現を行い、意欲に満ちた文章を書くことができる。
(イ) テーマの理解	テーマについての的確に理解・考察した上で、自分の考えと結び付けて文章表現することができる。
(ウ) 表現の内容	文章表現の内容が整理されており、まとまっている。 文章表現が具体的で説得力がある。
(エ) 表現の技能	文章表現における基礎的スキルを身に付けている。 表現力が豊かで、分かりやすい文章を書くことができる。

**イ 実技による自己表現（部活動実技）**

評価項目	評価基準
(ア) 表現への意欲	当該種目における表現に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 表現の態度	当該種目における表現に模範的態度で真面目に取り組んでいる。
(ウ) 基礎的スキル	当該種目における基礎的スキルを身に付けている。
(エ) 専門的スキル	当該種目における専門的スキルを身に付けている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接・自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

< 総得点の満点の内訳 >

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定（算式1）	加点	面接	自己表現	
500点	(135 + $\alpha$ - m)点	50点	100点	200点	(985 + $\alpha$ - m)点

（算式1）  $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

$m$ ：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。